

2017 - 18年度 RI テーマ



ロータリー：  
変化をもたらす

Rotary International  
国際ロータリー会長  
イアン H. S. ライズリー



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

変革の時代、創造のとき。  
新たな一歩で感動を！

第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
YAO EAST ROTARY CLUB  
●創 立：1973年2月23日  
●会 長：大松 桂右  
●幹 事：高岡 正和  
●会報委員長：安田 憲司

今週のプログラム

第2169回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「君が代」「四つのテスト」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会員及び会員夫人誕生日祝  
奥田会員、池本夫人、谷村夫人
- ⑤ 会員結婚記念日祝  
池本会員、上山会員、大橋会員、木村会員  
松本会員
- ⑥ 会務報告  
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑦ 委員会報告  
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑧ 卓話  
「日本における金融リテラシーについて」  
辻盛 英一会員
- ⑨ 閉会 点鐘

\* 例会前：第28回IMRD実行委員会

★ 例会後：3月度定例理事会

\* 3/3 (土)

会長エレクト研修セミナー (PETS)・懇親会

於：国際会議場 10階 1003号室 (会議)

12階グラントック (懇親会)

登録：12:00~13:00

会議：13:00~16:58 懇親会：17:20~19:00

品川会長エレクト 出席予定

来週の予定

第2170回移動例会 3月9日(金) 於：山徳

\* 例会場変更に伴い、例会時間 **12:30-13:30**  
に変更

☆卓話「段ボール産業の歴史」 長尾 穰治会員

☆「ロータリーの友」紹介

高橋 広一広報・雑誌委員

\* 例会後：第29回IMRD実行委員会

\* 3/14 (水)

① IMRDパネルディスカッションの打ち合わせ  
於：シェラトン都ホテル大阪 5階 カトリア  
14:30~16:30

各クラブ発表者、石川IMRD実行委員長、  
中澤IMRD実行副委員長、大松会長、高岡幹事、  
上山会員、堀内会員、鈴木会員

② IMRD用ホテルとの打ち合わせ

於：シェラトン都ホテル大阪 4階

16:00~17:00

IMRD実行委員会及び各委員会チーフ

前週の例会記録

2018年2月23日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2168回	28名	22名	95.7%	出席義務免除 7名(出2)
第2166回	28名	22名	95.5%	補 填 6名

★例会場：八尾市生涯学習センター<かがやき> 〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL:072(924)3876

★例会日時：毎週金曜日13時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS (リノアス) 8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

ニコニコ箱

●クラブ創立 45 周年おめでとうございます。

パストガバナー 大阪西南 R C 大谷 透様

●いつもお世話になっております。

八尾東 R C の益々の発展と野球部の活躍を祈念して  
しております。 元会員 川密 眞様

●45 周年おめでとうございます。ご招待ありがとうございます。  
元会員 中西 義治様

●クラブ創立 45 周年記念例会の開催おめでとうございます。

また本日はお忙しい中をパストガバナーの大谷様、  
元会員の川密様、増井様、中西様におかれましては  
ご出席頂きありがとうございます。最後までよろ  
しくお願い致します。 大松 桂右会員

●大谷パストガバナー、元会員の川密様、増井様、中  
西様、45 周年記念例会にお越し頂きましてありが  
とうございます。

大谷様におかれましては卓話宜しくお願い致しま  
す。

元会員の皆様については、懐かしいロータリー話に  
花を咲かせて頂ければと思います。高岡 正和会員

●45 周年記念例会おめでとうございます。大谷パス  
トガバナー、本日は卓話ありがとうございます。

奥田 長二会員

●八尾東 R C 45 周年お祝い申し上げます。

本日は遠路、大谷透パストガバナーにはご来訪いた  
だき、誠にありがとうございます。

桑田 タア子会員

●大谷パストガバナー、卓話ありがとうございます。

クラブ 45 周年に感謝。 鈴木 洋会員

●45 周年おめでとうございます。準備して下さった  
皆様、ご苦労様でした。ありがとうございます。

上田 郁生会員

●創立 45 周年記念お祝い申し上げます。

大橋 秀造会員

●大谷パストガバナー、大変お忙しい中、卓話いた  
だきありがとうございます。 池本 繁喜会員

●私共の 45 周年記念例会に大谷パストガバナー様、  
お越しくださいます。有難うございます。

森下 慶治会員

●永きにわたってクラブを築いてこられた諸先輩に  
敬意を表します。 品川 芳洋会員

●大谷様、卓話よろしくお願いします。

元会員の皆様方には訪問ありがとうございます。  
石川 義一会員

●大谷パストガバナー様、本日はありがとうございます。  
長尾 穰治会員

●50、60 周年と今までと変わらない楽しく、仲良  
く、明るいクラブへとなっていきましょう！

堀内 伸也会員

●大谷パストガバナー卓話よろしくお願いします。

クラブ 45 周年おめでとうございます。

谷村 政哉会員

●今回合計 54,000 円

●累計 630,580 円

## 会長の時間

本日は八尾東 R C の設立 45 周年記念例会です。  
その記念すべき例会のゲストとして、大谷透パス  
トガバナーをお迎えし、「ロータリーで学んだ人  
生のタテ軸とヨコ軸」という題名で卓話を頂くこ  
ととなっております。大谷パストガバナーにおき  
ましては、ご多忙な中をご臨席賜り、記念例会に  
華を添えて頂きましたことに厚く御礼を申し上げ  
ます。

また、O B の方々にもご参加頂きましたことに感  
謝申し上げます。

私も 45 周年という節目の会長として、力不足な  
点が多々ありますが、皆様のご協力のもと残りの  
任期も責務を全うできるよう努力して参ります  
のでどうぞよろしくお願い致します。

今後も八尾東 R C がますます発展することをお  
祈り申し上げます。

## 幹事報告

今回は特にございません。

## 卓話

「ロータリーで学んだ  
人生のタテ軸とヨコ軸」  
国際ロータリー第 2660 地区  
パストガバナー 大谷 透氏  
(大阪西南 RC)



【八尾東 RC 創立 45 周年記念例会卓話】

2018 年 2 月 23 日

2 月は『平和と紛争予防／紛争解決』強調月間。

国際的に、国と国とが仲良くするためには、対人関係と同じ事：お互いに悪い事は云わない、思い出さない、良いことは思い出しましょう。

① 和漢三才の 3 猿図会 (Three wise monkeys)

「見ざる」「聴かざる」「云わざる」

“See no evil, hear no evil, speak no evil.”

See no evil : 悪へ誘うようなものは見るな、

Hear no evil : 自分を悪へ導くような事には耳を傾けるな、

Speak no evil : 人の悪口は云うな、自分の品格を貶めるような事は云うな。

ロータリー財団の標語「良い事をしよう doing something good」は evil の反語。

② 2017 年 10 月に「朝鮮通信使」がユネスコの世界記憶遺産に登録。

③ 1951 年サンフランシスコ国際平和会議でのジャヤワルダナ氏のスピーチ。彼は後にスリランカの大統領となるが、同会議にはスリランカ代表として参加。ソ連提案の日本分割統治に真っ向から反対する意見を厳しく述べ、アジアに於ける白人の植民地支配に対して日本が取った姿勢に敬意と共感を示し、仏陀の言葉を引用しつつ、次のようなスピーチを行った。「憎しみによって憎しみを消す事はできません、憎しみを消す事ができるのは愛のみです。今は敗者に対して寛大な心を示し、友情の手を差し伸べるべき時です。」

確かに謝罪と云う行為があったとしても、赦し

と云う行為がなければ和解は成立しないのです。平和は達成されないのです。

このスピーチがこれまで責めと裁きが主流であった会議の流れを、赦してあげようとする方向へと変えてしまったのです。未だに分断されたままの韓国と北朝鮮の事を思うと、我々は、日本を分断の危機から救った彼の功績を記憶にとどめ、ロータリーの core value の一つ「多様性を認めある寛容さ」を再認識

1 月；「職業奉仕強調月間」

職業奉仕はロータリーの基本理念。

ピーター・ドラッカーの著書「マネジメント」に出てくる有名なレンガ職人の寓話：

ある人が とある教会の建設現場でレンガ積みをしている 3 人の職人に訊ねました。

「あなたがたはそこで何をしているのかね？」

最初に答えた職人の言葉はこうでした。

「このレンガを来る日も来る日も積み上げているのさ。俺には女房も子供もいる。金が要るんだよ。」

2 人目の職人の答えはこうでした：

「俺は腕のいい レンガ職人だ。美しくて、且つ少々の地震が来ても崩れない、丈夫なレンガの建物を造っているんだ。」

3 人目の職人は言いました：

「俺はこの会堂を訪れる人々が平安な思いに満たされて、そこで感謝の祈りを捧げたいような教会堂を造るために協力しているんだ。しかもそこを訪れる人々は 何百年にも亘るだろうから、時代を超えて多くに人々のお役に立てるんだ。これほど嬉しいことはないね。」

レンガを積む仕事の内容は 3 人とも同じでも、仕事に対する意味づけが全く違っている。

「金が要るんだよ」仕事は生活の糧を得る手段、「プロとしての誇り」職人としてのプロ意識、「仕事を通じて社会に貢献」→ 職業奉仕

参考文献：「働き盛り」の NPO

(2015/2/19 発行：島田恒著)

## 人生のタテ軸とヨコ軸

タテ軸は信念、ヨコ軸はそれを実践する現場と云う考え方、人と人との関わりの中（人間）

我々のただ一度限りの人生を考える時、これをタテ軸とヨコ軸に分けて考えると、どのような要素が自分の人生にとって大切であり、人生を豊かにするかの理解を助けてくれる。

### 人生のタテ軸：信念（価値観、人生観、世界観）

独善的なものであってはなりませんけれども、なんらかの思想とか理念と云うものが 自分自身の信念となるためには、理屈を超えた自らの選択・決断。

⇨ どうして阪神ファンか

国際ロータリーが「中核をなす価値観」（Core Value）に据えているものは「Ideal of service」「Fellowship」「leadership」「Integrity」「Diversity: いろいろな立場にある人を認めある寛容さ」です。ロータリアンはこれをタテ軸としましように申し合わせているのです。

世の中にはさまざまな哲学・宗教・人生訓・信念がありますが、共通するキーワードとして「愛」「思いやり」「自由」「責任」「高潔さ」「誠実さ」など、ロータリーの Core Value とよく似ています。それはこのような思想や理念が「人生の真の豊かさ」に関わるからです。

日本ロータリークラブ創始者の一人米山梅吉氏の言葉「ロータリーの例会場は人生の道場」

「道場」と聞けば「武士道」が思い浮かびます。

日本人は昔から武士道のような信念をタテ軸に持つように教えられ、ヨコ軸として家族や友人・隣人・社会とのつながりをもって来た。

ナチ政権下でのユダヤ人虐殺、オウム真理教のサリン事件、戦争によって引き起こされる憎悪感などを考えると、人間は誰でもタテ軸としての正しい信念がなければ、目を背けたくなるような残酷な犯罪にも、平気で手を染めてしまう弱い存在。⇨ジャヤワルダナ。人間個人としての「思いやり」、**個々の人生のタテ軸としての信念**がいかに大切であるかがわかる。

## 人生のヨコ軸：具体的現場

タテ軸は信念・価値観で心の中の問題だが、ヨコ軸は具体的な日常の現場。関わる人とは 同僚・顧客・友人・家族。このタテ軸とヨコ軸の交わる所が一度しかない自分の人生。

人間は一人では生きて行けないので人の間と書く。人と人との間にある2つの関係。

### ① 私とあなたの関係、② 私とそれの関係。

①あなたの人格を自分の人格と同じように尊重すると云う人格的關係。②「それ」はものであって、自分にとっては利用すべき対象。いくらその人に忠実で、丁寧な付き合い方をしているも、「それ」はもの。

ヨコ軸に於ける人と人とのつながりでロータリーが **core value** として大切にしているのが**友情（Fellowship）**は私とあなたの関係。

この大切なタテ軸と大切なヨコ軸の交わるところがいま自分が歩んでいる人生で、やり直しの出来ない人生をいま歩んでいる。

人生のタテ軸である信念の重要性と、たとえ強い信念があってもその実践現場としての人生のヨコ軸がなければ、意義のある豊かな人生を実感する事はできず、人生の充実感も持てない。

ロータリーはそのタテ軸とヨコ軸をしっかりと保障してくれる**人生の道場**。その事を、すべてのロータリアンが理解し、一人ひとりがその道場で師匠役や兄弟子役が期待されている。我々になじみの深い「四つのテスト」は、ロータリー創立50周年の1954年にRI会長となったハーバート・テラー氏が、倒産寸前にあったシカゴのアルミ調理器具の会社を再生させるために、この「四つのテスト」をタテ軸として、従業員を訓練。このタテ軸をもった従業員は夫々のヨコ軸である現場でその理念を実践し、その会社を立派に再生せしめた。

彼は後に次のような文章を遺しています。

「四つのテストを書いてから約二年経った頃、四つのテストの内容がどうしてこのようになった

のか、その必然性が自分でもはっきり分かる時がきた。旧約聖書の預言者エレミアの書にこう書かれている。『知恵ある人は、その知恵を誇ってはならない。力ある人は、その力を誇ってはならない。富める者は、その富を誇ってはならない。誇れる者は、これを誇りとせよ、即ち、聴くあつてわたしを知っていること。わたしが主であつて慈しみと公平と正義を行っている者であることを、知ることがそれである』。テーラー氏の言わんとする事とは、我々の行動を四つのテストに適ったものとするための秘訣は、正義と慈愛の心を持っている 神を恐れ敬う謙虚な心を持つこと。神仏の前で申し開きの出来る行いかどうかを絶えず反省する 謙虚なところを持つ事をタテ軸とせよ。

しかし人間は一人では生きて行けず、ヨコ軸があつて始めてタテ軸である信念の実証が可能。

ロータリークラブでは横のつながりを広げる事ができると同時に、タテ軸を確立する事ができて、それに確信が持てるようになりました。

働き盛りの年齢でロータリーに入会する事は、その人にとってマイナスのように一見思われがちだが、振り返ってみるとプラスであったと思う面の方が多かった。人間としての視野が広がり、人脈が広がり、画一的でない幅の広い豊かな生活を味わう事ができる。人生の道場では多くの師匠に出会うことができる。

ロータリーには時代を超えた、しかも幅広くどんな職業にも当てはめる事のできる**タテ軸**があり、それに共感して集う**ヨコ軸**がある。仕事一辺倒から解き放ってくれる刺激がある。しっかりと**タテ軸**が固定されれば**ヨコ軸**はぶれる事なく、ロータリーを楽しむ事ができ、それは人生の充実感へとつながる。

異業種でありながら、しっかりとした**タテ軸**を持った者同志が、**ヨコ軸**としての仲間との交流を大切にしようとする。それがロータリーであり、それでこそロータリーである。

ご清聴有難うございました。 大谷 透

## 八尾東RC創立 45 周年記念例会のご報告

親睦活動委員長 辻田 撰

2018年2月23日(金) 八尾東ロータリークラブ創立 45 周年記念例会をスイスホテル南海大阪 35 階ベルビューで行いました。

いつもとは違う雰囲気の中、例会が始まり卓話は国際ロータリー第 2660 地区 パストガバナー 大阪西南RC 大谷 透様から「ロータリーで学んだ人生のタテ軸とヨコ軸」を頂きました。

記念例会にふさわしい卓話でした。

例会終了後、恒例であります奥田会員の乾杯で祝宴がスタートしました。

35 階から見る大阪ミナミの夜景はとても綺麗で、コース料理も美味しく楽しい時間でした。みなさまと親睦をより深められたと思います。

最後は大橋副会長の閉会のご挨拶を頂き祝宴を終了いたしました。





第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
**YAO EAST ROTARY CLUB**